

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年1月13日

公表: 令和5年1月31日

事業所名 上代継在宅地域支援センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の利用人数をみてスペースの確保を充分に行うことができた。</li> <li>・十分なスペースがあるので適度な距離をとりながら感染症の対策も行っていった。</li> <li>・保育スペース内で、保育内容に応じた備品等を準備している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな改善点はないので、今後も整理整頓を心掛けて適切に利用することができるように努める。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切である	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当看護師が休みの時にも対応できるように伝達した。</li> <li>・登園人数に応じて、スタッフの配置ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、適切な人員配置を行っていく。</li> </ul>
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真スケジュールを利用したり、余計な掲示物をなくすなどの環境配慮を行っている。</li> <li>・保育スペースは整理整頓を行い、バリアフリーになっている。</li> <li>・絵カードや写真カードなど必要に応じて利用している。マカトンサインの提示もしてある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境は整っているのですが、口頭や書面での情報交換を引き続き行いながら、状況に合わせて柔軟に対応できるように努める。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃、整頓は毎日行い、わかりやすく構造化されている。</li> <li>・保育後の消毒や流延での汚れに対しては、すぐにアルコール消毒で対応するよう心掛けている。</li> <li>・セラピーマットを交換した。動きや活動に合わせて、マットの配置を工夫することができた。</li> <li>・使用した玩具を他児がする際は必ず消毒してから渡す用配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラピーマットについては交換を行ったが、壁紙については剥がれている部分もあるため、張り替えを検討する。</li> </ul>
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に関わるスタッフ全員で会議をもち、運営内容について話し合っている。</li> <li>・定期的な会議を設定している。</li> <li>・支援会議で定期的に話し合っている。</li> <li>・リハスタッフ・コーディネーター等も含めた評価・振り返りを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育や利用者様の目標設定、改善の取り組みを実施している。運営、業務の見直しについては継続していく。</li> </ul>
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価アンケートに基づいて改善すべきことは行っている。</li> <li>・定期的な面談での意見などを聞き、改善できるよう、努めている。</li> <li>・日々保護者の意見・要望等を傾聴し、支援に反映できるよう職員間でも共有して統一した支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保育や連絡ノート、そして、定期的にご家族と面談を行い、頂いたご意見をもとに会議で検討して業務改善に繋げている。</li> </ul>
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページで公開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ以外の方法でも周知できるように検討していきます。</li> </ul>
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートの内容を職員間で把握して業務改善に繋げている。</li> <li>・アンケートを踏まえて職員間で検討し改善に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価、利用者評価の掲示を引き続き行っていく。</li> </ul>
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援に携わる職員は学校公開等に参加し、就学後の様子を知ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な研修を受けられるように体制を整えていきたい。</li> </ul>

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントで聞き取りしたニーズを担当間で共有して個別計画に反映させている。</li> <li>・定期的な面談での意見などを聞いた後に話し合いを持ち、支援計画を作成している。</li> <li>・携わる専門スタッフ等と相談し、様々な視点から支援計画を作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々ご利用者、ご家族と情報交換を行いながらニーズや課題を見つけ、改善に結びつけていく。</li> </ul>
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準化されたアセスメントツールは使用していないが、保育、PT、OT、STそれぞれの専門分野ごとに評価している。</li> </ul>
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人に必要な支援を検討し、実行している。</li> <li>・他施設との連携・就学時の移行支援などがある場合は、支援計画へ具体的に記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で内容を周知して、より具体的で効果的な支援が行えるように努める。</li> </ul>
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に会議を行いながら、個別支援計画に沿った支援を提供している。</li> <li>・個々に設定された支援内容で支援を行うよう心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りと評価を定期的に行い、より状況にあった支援を提供できるようにしていく。</li> </ul>
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園されるお子さんの情報交換後、姿勢など細かなところまで話し合い、活動内容を決めている。</li> <li>・月一回会議を設け、活動などの反省を行い、次回以降の活動内容を決めている。</li> <li>・保育士・リハスタッフ等で季節に合った行事や日々の保育内容の計画を行っている。</li> <li>・リハスタッフが保育へ入る際には、事前に相談して専門性のある遊びを取り入れられるよう、月の予定を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ご家族と情報交換を行い、体調や児童の特性・成長をみながら、状況に合わせた活動プログラムを組めるように努めていきます。</li> </ul>
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年で行う行事なども、お子さんの特性や日々の人数などを把握した上で工夫している。</li> <li>・行事や季節を取り入れた保育内容などマンネリ化しないよう工夫している。</li> <li>・アイデアが多く固定化せず工夫されている。</li> <li>・児童の状態や当日の保育人数等にも配慮し、同じ内容でもそれぞれが楽しめる様に、保育の設定、工夫を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の状況や環境的要因に配慮しながら、最適な活動プログラムが実行できるよう配慮する。</li> </ul>
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他児を意識した活動内容を取り入れて、活動内容に活かしている。</li> <li>・同じ活動内容でもお子さんの能力や特性に応じて変えている。</li> <li>・集団を意識できる朝の会・ゲーム等も取り入れつつ、個々の活動でもお互いの様子や作品の共有・共感ができるような場面を設けるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数での登園の場合でも、個別と集団での意識をしながらの活動展開を心がけていきたい。</li> </ul>
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日に入る支援者全員で朝のミーティングを行い、健康面や伝達事項、支援内容の確認をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、内容や状況が把握しやすいように、ホワイトボードなどを活用する。</li> </ul>
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回リハ専門職ごとに保育についての振り返りを行い、さらに全体会議で全体の振り返りと情報共有を行っている。</li> <li>・会議欠席者は日誌にて必ず確認している。</li> </ul>
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の見返し、会議にて振り返り改善に努めることが出来ている。</li> <li>・日々の記録をして定期的な支援会議前にまとめることで、支援内容につなげている。</li> <li>・日誌や個別記録への記載はできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当会議で内容を把握して支援の検証、改善に努める。</li> </ul>	

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズの収集を行った後に各担当で内容を検討して判断している。</li> <li>・大きな変化があった際には、内容の見直し・検討を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有をよりスムーズに行えるよう記録や伝達方法を整えていく。</li> </ul>
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者とご利用者に関わる各パート担当が参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き参加しやすいように整えていく。</li> <li>・サービス管理責任者の参加は行われている。</li> </ul>

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターや併用施設と情報交換を行っている。</li> <li>・情報共有・連絡は取れている。</li> </ul>	・ZOOM等を使用した会議も開催されているため、積極的に参加していく。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様のニーズがあれば連絡を取り、情報共有を行っている。</li> </ul>	・インターネットでの会議など感染症などの影響を受けにくい連携の取り方についても考えていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母を通して受診結果を聞きながら、必要時には連携をとるよう心掛けている。</li> <li>・保護者様のニーズがあれば連絡を取って、情報共有を頂いている。</li> </ul>	・体制については整備されていないので、情報共有が行いやすいように整えていきたい。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校見学や地域の部会に参加することで情報共有を行っている。</li> <li>・併用通園(児発)・保育園等に通われているお子さんについては、支援内容の共通理解を行う為に保護者様の同意を得てから情報の共有を行うことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者、ご家族の要望に沿って情報共有が行えるよう努める。</li> <li>・他施設との情報交換を行うことで、児童への対応の仕方や環境の実態を把握し、支援に繋げていきたい。</li> </ul>
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学後の面談など担当の先生と情報を共有している。</li> <li>・就学児がいる場合には学校への伝達、情報の共有を行っている。また、学校公開等を利用して見学をし、直接学校側のお話を聞いたり雰囲気を感じてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も支援学校等への引継ぎや連携を図り、通園されている保護者様への情報提供を細かく行えると良い。</li> <li>・年長児に情報共有し対応できている。</li> </ul>	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の事業所を見学し、情報の共有に努めている。</li> <li>・地域における他施設交流や研修を通して、情報の共有を行っている。</li> </ul>	・今後は他施設併用の利用者が増えると思われるので、連携をとれるようにしていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症拡大防止の観点から地域との交流は行うことができていない。</li> </ul>	・感染症の問題について対応することができるよう努めていく。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ZOOMでの定例会に参加し、情報交換を行うことができた。</li> <li>・地域の他施設交流や研修を通して、情報の共有を行っている。</li> </ul>	・引き続き継続していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子通所を基本としているのでコミュニケーションも多く取れることから共通理解をもって関わることができている。</li> <li>・積極的に話しかけてご家庭での困りごとなどを伺い、状況に合わせた支援を行っている。</li> </ul>	・引き続き、本人・ご家族と情報交換を行い、悩みを共有し、問題解決に向けて寄り添った支援を行っていく。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の特性に合わせての関わり方などをお伝えしている。</li> <li>・防災訓練・口腔歯科研修・ペアレントトレーニング等を行い、家族支援に繋げている。</li> </ul>	・引き続きアンケートを行いながらニーズの高い勉強会を中心に行っていきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別で対応させていただいた。</li> </ul>	・引き続き、不足がないよう丁寧に説明を行っていく。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談時に報告と支援内容を説明させていただき同意を得ている。</li> </ul>	・日々の保育の中から情報交換を行い、より状況にあった支援が行えるよう引き続き支援していく。	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方の悩みを聞いたスタッフが助言するとともに会議などで報告しあって情報共有を行っている。</li> <li>・保護者の話を傾聴し、その都度アドバイスができるよう心掛けている。必要であれば、個別で話せる場を設けるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、リハスタッフやコーディネーターへ相談し、より専門的な支援が行えるように情報提供を行っている。</li> </ul>
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	生活介護との保護者会への参加。研修等への参加の声かけを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会で行われている内容について、周知しきれていない部分がある。面識も少ない為、参加しづらいなどの意見を伺ったことあるので繋げていけるよう働きかける。</li> </ul>
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者、ご家族から相談を受けた場合には職員間で周知し、適切な対応を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き報連相をしっかりと行い、受けた相談に対しては丸となって取り組み解決に繋げていきたい。</li> </ul>
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月「ちゅうりっぷだより」を発行して活動や伝達事項について周知していただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き有益な情報を発信していく。</li> </ul>
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いについては承諾書を取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き個人情報が守られるよう管理していく。</li> </ul>
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子や意思表示について分からないことがあれば、保護者の方に確認し、情報を得るようにしている。</li> <li>・マカトンサインや写真を提示するなど個別性を考えながら、意思の疎通を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当間で情報交換を行いながら意思の疎通をスムーズに行えるよう引き続き配慮していく。</li> </ul>
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでのウェブ祭りを開催し、交流を図ることができた。</li> </ul>
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に訓練や勉強会を行うことで知識や理解を深めていった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員周知と内容の更新を行う。</li> </ul>
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を実施し、保護者に参加していただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間でスケジュールが組んであるので引き続き行う。</li> </ul>
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診後など情報を収集し、薬を含む治療法と発作の状況を把握するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き情報交換を行いながら誤薬などないよう気をつけていく。</li> </ul>
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーがあれば、食事箋に明記して栄養科と連携し対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き注意しながら進めていく。</li> </ul>
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の会議で報告を行い、再発防止に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き会議で報告、検討して再発防止に努めていきたい。</li> </ul>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会での研修と自己評価シートを活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会などでも取り入れ、気の緩みがないように継続して行っていきたい</li> </ul>
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者がした場合の準備はできている。</li> <li>・安全面を配慮した上で座位保持・バギー等でのベルトの装着をすることを支援計画に記載し、説明を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者がした場合の手順については職員間で周知できるようにしていきたい。</li> </ul>

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。